

ほのか診察室



シリーズ

第132話

ほんのちはCEです

市民病院 診療支援部
臨床工学課

はじめに

市民病院には「CE」と呼ばれる技術者がいますが、「CEって何?」「病院へはかかったことあるけど、聞いたことないなあ」という方がほとんどではないでしょうか。そこで、今回はCEについて紹介します。

CEとは

CEは、クリニカル エンジニア Clinical Engineerの略で、「臨床工学技士」という国家資格を持った医療技術者です。市民病院では、6人が働いています。

皆さんにおなじみの、レントゲンやCTなどを扱う診療放射線技

師、血液検査や心電図などの検査を行う臨床検査技師、リハビリテーションを行う理学療法士も同じ医療技術者です。CEは、ほかの医療技術者に比べ、制度が出来たのが1987年と比較的新しいこと、また広く患者さんに接する機会が少ないことから、まだまだ知名度の低い職種です。

CEの仕事

CEは、医学と工学（生体医工学）を学んだスペシャリストとして、患者さんの命に関わる人工呼吸器・人工透析装置・麻酔器の操作、病院に

あるさまざまな医療機器の保守・点検・修理を行っています。医師をはじめとする医療従事者は、より迅速で正確な診断や高度な治療をするために、さまざまな医療機器を用います。CEは、これらがいつでも安心して使用できるよう日々の業務を行い、医療の安全性確保に寄与しています。

「血液浄化療法」で活躍

体内に貯まった物質を選択的に除去するために、「人工透析」や「アフエレスミス」と呼ばれる治療を行います。CEは、この治療の際に、患者さんに装置を接続し、治療中の状態を観察し、安全に治療ができるように装置を操作しています。

このように、医療機器が欠かせない治療では、医学と工学の両方の知識をもつCEが、患者さんの命を支える医療チームの一員として貢献しています。

院内研修も大切な仕事

医学と工学（生体医工学）、医療機器は、凄まじい勢いで発展して

おり、私たちは常に最新の知識と技術を身に付けるため学び続けています。

これらの経験を病院のスタッフ全員が共有し、正しく安全に医療機器を使用できる環境を整え、安心して治療を受けていただけるよう、病院内をリードしていくこともCEの役割です。

